請求の範囲

[請求項1] 金融機関で用いる所定指標値の情報と所定事象の情報とを格納した記憶装置と、

前記指標値および前記事象の各情報を記憶装置から読み出して、前記各情報を入力として前記指標値と前記事象の情報との相関分析を実行し、前記指標値に所定の影響を及ぼす事象を特定し、当該事象の情報に基づき前記指標値を推定する回帰式を生成する処理と、前記回帰式の変数を構成する前記事象に関して、その動向予測を選択可能に回答しうるインターフェイスを含んだ質問画面を生成する処理と、前記質問画面を所定金融機関の端末に配信し、当該質問画面を介して前記端末から前記動向予測の回答を取得し、当該回答の値を、前記回帰式において対応する事象の変数に入力し、前記指標値の予測値を算定する処理と、前記予測値の情報を所定金融機関の所定装置に出力する処理と、を実行する演算装置と、

を備えることを特徴とする予測業務支援装置。

[請求項2] 前記演算装置は、

前記質問画面を生成するに際し、前記選択可能なインターフェイスにおける選択肢の数に応じて、前記特定した事象の値の大きさごとに当該事象の情報を分類してヒストグラムを生成し、当該ヒストグラムにおける階級それぞれに対応する前記所定事象の値の範囲情報を、前記選択肢に紐付けて記憶装置で保持する処理を更に実行し、

前記回帰式を生成する処理に際し、前記特定した影響を及ぼす事象の情報を、前記範囲情報に照合して、当該情報が前記選択肢のいずれに対応するか判定することで、前記事象の情報それぞれを前記選択肢のいずれかの値に変換したものを取得し、当該取得した値と前記指標値とを所定の機械学習アルゴリズムに与え、回帰式における変数およびその係数の組合せを特定して回帰式を生成するものである、

ことを特徴とする請求項１に記載の予測業務支援装置。

[請求項3] 前記演算装置は、

前記回帰式に対して、変数への入力として、所定時期における前記事象の現実値を前記範囲情報に照合して変換した前記選択肢のいずれかの値を設定して、前記指標値の模範値を算定し、前記模範値と前記予測値とを比較して、その乖離が所定基準を超える場合、当該回帰式の生成に用いていない新たな所定事象の情報を入力装置ないし記憶装置から取得し、当該新たな事象の情報を加えた上で回帰式の再生成を行う処理と、

前記再生成した回帰式の変数を構成する事象に関して、その動向予測を選択可能に回答しうるインターフェイスを含んだ質問画面を生成する処理と、前記質問画面を所定金融機関の端末に配信し、当該質問画面を介して前記端末から前記動向予測の回答を取得し、当該回答の値を、前記回帰式において対応する事象の変数に入力し、前記指標値の予測値を算定する処理と、前記予測値の情報を所定金融機関の所定装置に出力する処理と、

を実行するものであることを特徴とする請求項２に記載の予測業務支援装置。

[請求項4] 前記演算装置は、

前記質問画面を生成するに際し、前記階級それぞれに関してその度数を比較し、度数が所定基準以上となっている階級を判定して、前記選択肢の数および内容を、前記判定で特定した階級の数および当該階級における前記所定事象の値の範囲と特定し、当該特定した選択肢の数および内容に応じた前記インターフェイスを含む前記質問画面を生成するものである、

ことを特徴とする請求項２に記載の予測業務支援装置。

[請求項5] 前記演算装置は、

所定の金融機関の端末から、当該金融機関とは異なる他金融機関に関する情報提示要求を受信し、当該他金融機関に関して既に得ている

、前記動向予測の回答の値、および、前記算定した前記指標値の予測値、の各情報の少なくともいずれかを、前記他金融機関の端末に出力する処理を更に実行するものである、

ことを特徴とする請求項１に記載の予測業務支援装置。

[請求項6] 金融機関で用いる所定指標値の情報と所定事象の情報とを格納した記憶装置を備えた情報処理装置が、

前記指標値および前記事象の各情報を記憶装置から読み出して、前記各情報を入力として前記指標値と前記事象の情報との相関分析を実行し、前記指標値に所定の影響を及ぼす事象を特定し、当該事象の情報に基づき前記指標値を推定する回帰式を生成する処理と、

前記回帰式の変数を構成する前記事象に関して、その動向予測を選択可能に回答しうるインターフェイスを含んだ質問画面を生成する処理と、

前記質問画面を所定金融機関の端末に配信し、当該質問画面を介して前記端末から前記動向予測の回答を取得し、当該回答の値を、前記回帰式において対応する事象の変数に入力し、前記指標値の予測値を算定する処理と、

前記予測値の情報を所定金融機関の所定装置に出力する処理と、

を実行することを特徴とする予測業務支援方法。

[請求項7] 前記情報処理装置が、

前記質問画面を生成するに際し、前記選択可能なインターフェイスにおける選択肢の数に応じて、前記特定した事象の値の大きさごとに当該事象の情報を分類してヒストグラムを生成し、当該ヒストグラムにおける階級それぞれに対応する前記所定事象の値の範囲情報を、前記選択肢に紐付けて記憶装置で保持する処理を更に実行し、

前記回帰式を生成する処理に際し、前記特定した影響を及ぼす事象の情報を、前記範囲情報に照合して、当該情報が前記選択肢のいずれに対応するか判定することで、前記事象の情報それぞれを前記選択肢

のいずれかの値に変換したものを取得し、当該取得した値と前記指標値とを所定の機械学習アルゴリズムに与え、回帰式における変数およびその係数の組合せを特定して回帰式を生成する、

ことを特徴とする請求項６に記載の予測業務支援方法。

[請求項8] 前記情報処理装置が、

前記回帰式に対して、変数への入力として、所定時期における前記事象の現実値を前記範囲情報に照合して変換した前記選択肢のいずれかの値を設定して、前記指標値の模範値を算定し、前記模範値と前記予測値とを比較して、その乖離が所定基準を超える場合、当該回帰式の生成に用いていない新たな所定事象の情報を入力装置ないし記憶装置から取得し、当該新たな事象の情報を加えた上で回帰式の再生成を行う処理と、

前記再生成した回帰式の変数を構成する事象に関して、その動向予測を選択可能に回答しうるインターフェイスを含んだ質問画面を生成する処理と、前記質問画面を所定金融機関の端末に配信し、当該質問画面を介して前記端末から前記動向予測の回答を取得し、当該回答の値を、前記回帰式において対応する事象の変数に入力し、前記指標値の予測値を算定する処理と、前記予測値の情報を所定金融機関の所定装置に出力する処理と、

を実行することを特徴とする請求項７に記載の予測業務支援方法。

[請求項9] 前記情報処理装置が、

前記質問画面を生成するに際し、前記階級それぞれに関してその度数を比較し、度数が所定基準以上となっている階級を判定して、前記選択肢の数および内容を、前記判定で特定した階級の数および当該階級における前記所定事象の値の範囲と特定し、当該特定した選択肢の数および内容に応じた前記インターフェイスを含む前記質問画面を生成する、

ことを特徴とする請求項７に記載の予測業務支援方法。

[請求項10] 前記情報処理装置が、

所定の金融機関の端末から、当該金融機関とは異なる他金融機関に関する情報提示要求を受信し、当該他金融機関に関して既に得ている、前記動向予測の回答の値、および、前記算定した前記指標値の予測値、の各情報の少なくともいずれかを、前記他金融機関の端末に出力する処理を更に実行する、

ことを特徴とする請求項６に記載の予測業務支援方法。